

モンゴル国公務員獣医師及び民間獣医師実践能力強化プロジェクト プロジェクトニュース 2021年11月

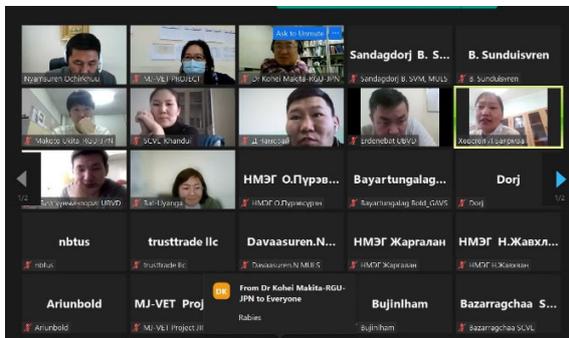
【国際獣疫事務局(OIE)コラボレーティングセンターエキスパート、酪農学園大学獣医学部蒔田教授による「獣疫学と家畜健康管理」に関するオンライン研修会が開催されました】

モンゴルでは、家畜数の増加に伴い、疾病の発生要因分析や有効な対策を講ずるために疫学的解析が不可欠ですが、獣医学部課程において疫学教育が十分に行われていないのに加えて、疾病発生地域のマッピングやデータ分析のためのモンゴル語教材はほとんどなく、現場で働く獣医師の疫学知識は十分とはいえません。

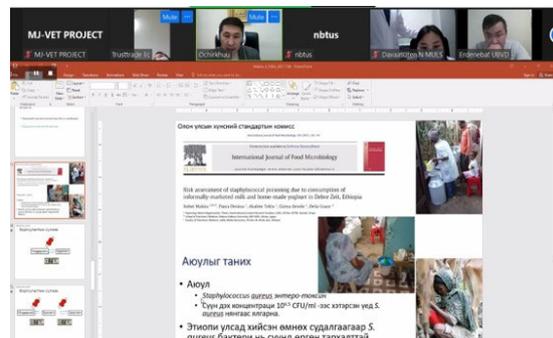
そのため、国際獣疫事務局(OIE)コラボレーティングセンターエキスパート、酪農学園大学獣医学部蒔田教授をお迎えして、2021年11月24日(水)、「獣疫学と家畜健康管理」に関する研修会をオンラインにて開催しました。

予防獣医学食品安全リスク評価、環境衛生についての講義やRソフトを使った統計学の演習、疾病リスクについてワークショップ型演習が行われ、ウランバートル市や各県からおよそ50人が参加しました。

予めモンゴル語に訳した資料を用い、逐次通訳で研修が行われたため、参加者は真剣に耳を傾け、演習課題に積極的に取り組んでいました。



オンライン研修の様子



モンゴル語に訳したの資料で研修を行っている様子

【研修・研究グループ「獣疫学の実習」が研修会を開催しました。】

プロジェクトで採択された研修研究グループの一つ、「Practical training in veterinary epidemiology」グループ 1) が Tuv 県及び UB 市獣医局の獣医師を対象に講義と実習を合わせた疫学研修を2段階にわけて実施します。

1段階目は、一般知識と実践的なスキルの向上を図る目的で、2021年10月18日～20日、11月8日から10日まで、獣医衛生中央ラボラトリーの研修室にて実施されました。

2段階目では、一回目の研修受講後に参加者自ら収集した地域のデータや情報を持ち寄って、疫学的手法に基づいた分析を行う目的で開催される予定です。

1) グループリーダー : Khandui.Ch (SCVL)

メンバー: Tserenchimed. S (SCVL), Bazarragchaa. E (SCVL), Erdenebat. B (UBVD), Chinchuluun. B (IVM), Burenjargal. O (TVD)

アドバイザー: Norikazu Isoda

Ph.D., Associate Professor, Epidemiologist, Disease Control of Veterinary Medicine, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University



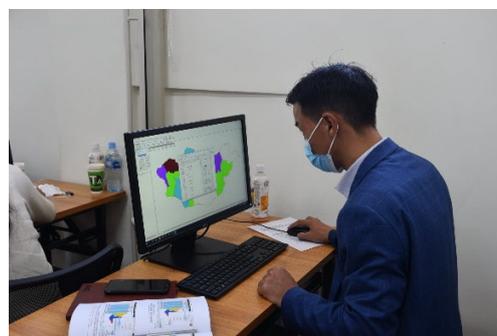
研修での集合写真



講義の様子 1



講義の様子 2



疫学プログラムを使用し実習する様子

【「病理解剖学分析、検体の採取・保管方法、検査ラボへの送付方法」に関する研修が開催されました。】

2021年11月23日、24日、「Training and practice of clinicopathological analyses: sampling, storage and transportation of specimens」研修グループ2)が、北海道大学獣医学研究院獣医学部門基礎獣医学分野木村教授を講師に迎え、「病理解剖学分析、検体の採取・保管方法、検査ラボへの送付方法」に関する研修(初日は、オンライン研修、2日目は羊の解剖による実習)を開催しました。トブ県 Argalant、Altanbulag、Zuunmod、および Sergelen ソムから獣医師が参加し、実践能力を向上させました。

2) グループリーダー : Ochbayar.E (SVM)

メンバー: Khorolmaa Ch (SVM), Khorolmaa Ch (SVM), Gereltsetseg G(SVM), Oyuntsetseg Ch(SVM), Khaliunaa Ts(SVM), Delgermaa B(SVM), Altanchimeg A(IVM), Tserenjav J(SCVL), Bilguunchinzorig G(UVO),

アドバイザー: Takashi Kimura

Ph.D., D.V.M. Professor Clinical Sciences of Veterinary Medicine, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University



集合写真



血液検査している様子



解剖準備の指導



解剖の様子

【エキノкокクス病に関する研修・研究グループ が研修会を開催しました】

「Surveillance of Echinococcosis in Tuv province of Mongolia and on-site training for soum level practical vets」グループ 3)が 2021 年 11 月 29 日、30 日に獣医学研究所の蠕虫学研究室にて「家畜のエキノкокクス病の分布、感染、ラボ上の検査法」の研修を実施しました。当研修には UB 獣医局と

Tuv 県 6 つのソムから獣医師が参加し、研修用の冊子を作成し、以下の内容で主に実践に基づいた研修を実施しました。

- ・蠕虫学検査に必要な試薬と染料の準備
- ・エキノкокクス症と他のテニア科との鑑別診断法
- ・蠕虫のプレパラート準備と染色法
- ・犬腸管の解剖法
- ・糞便検査法

3)グループリーダー : Chinchuluun. B (IVM)

メンバー: Batsukh.Z (IVM), Gantuya.S (SCVL), Boldbaatar.B (TUV)

アドバイザー: Nariaki Nonaka

Ph.D., D.V.M.Professor Medicine Disease Control of Veterinary Medicine, Faculty of Veterinary ,Hokkaido University



参加者の集合写真



研修で使用する試料



研修の様子 1



研修の様子 2



印刷したマニュアル冊子